

平成26年度 消費者支援功労者表彰 被表彰者等一覧

1. 内閣総理大臣表彰 5件

(1) 個人(3件)

(敬称略)

氏名	住所	役職	主な活動実績
すが みちよ 菅 美千世	秋田県秋田市	(公社)全国消費生活相談員協会参与・元理事長 国民生活センター紛争解決委員会特別委員 秋田県金融広報委員会金融広報アドバイザー、調停委員	・26年間、消費生活相談員として相談業務のほか、平成19年に多重債務相談団体(通称:秋田なまはげの会)の設立及び副会長への就任、県内外の講演・講座等の講師に従事。 ・東日本大震災発生後は、全国消費生活相談員協会理事長として、フリーダイヤルによる電話相談(震災関連110番)を実施するなど、被災地の消費者被害の未然防止に貢献。 ・その他、国民生活センター紛争解決委員会特別委員(平成21年～)として、事案の解決に尽力。
にしむら たかお 西村 隆男	神奈川県横浜市	横浜国立大学教育人間科学部教授 日本消費者教育学会会長 消費者庁消費者教育推進会議会長代理	・日本消費者教育学会会長のほか、消費者庁消費者教育推進会議会長代理、文部科学省消費者教育推進委員会委員長等、長年にわたり消費者教育関連の要職を多数務め、消費者教育の推進に多大な貢献。 ・国民生活センターによる、「消費者教育に携わる講師養成講座」のカリキュラム策定や地方公共団体の消費生活相談員を養成する講座において、消費者教育分野の講師を長年に亘り務めるなど、国民生活センターによる消費者教育関連の多数の事業に協力。
はら つよし 原 強	京都府京都市	NPO法人 コンシューマーズ京都(京都消団連)理事長	・京都消費者団体連絡協議会結成に参画以降、40年余り、消費者問題及び環境問題に積極的に取り組む。 ・大学で消費者問題等について教鞭を執るほか、(公財)大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用した消費者講座の企画・調整・講義を通し、大学における消費者教育の推進に尽力。 ・循環型社会の構築を目指し、微量の水銀が含まれる蛍光灯の適正処理・再資源化のシステム構築に寄与。

(2) 団体(2件)

名称	住所	主な活動実績
せいかつきょうどうくみあい 生活協同組合パルシステム茨城	茨城県水戸市	・東日本大震災復興支援活動として、茨城県、宮城県、福島県において、50回以上にわたり、生活物資搬送、炊き出し支援、がれき撤去、清掃活動、募金活動のほか、被災地訪問、被災者との交流会等を実施。 ・県内各市町村と、高齢者、障害者、子どもを対象にした見守り活動協力を推進するため、現在、30市町村と見守り協定を締結。 ・レジ袋削減運動を推進し、レジ袋代を日立市の環境教育事業費として寄付。
こうえきしゃだんほうじん にほんしょうひせいかつ 公益社団法人 日本消費生活アドバイ ザー・コンサルタント協会(NACS)	東京都目黒区	・消費生活に関する専門家の団体(主に消費生活アドバイザーと消費生活コンサルタントで構成)。認定個人情報保護団体(平成18年経済産業大臣認定)、裁判外紛争処理機関(平成20年法務大臣認証)で、消費者相談室(NACSウィークエンド・テレホン、ConsumerADR)、電話相談なんでも110番を実施し、事案の処理・解決に向けた活動のほか、消費者教育、環境関連における調査研究、研修会及びセミナーの開催、専門的見地からの行政への提言等を展開。また、消費者庁が地域の消費生活相談員等から直接情報を収集する「情報検討ネットワーク」について、会員を選定・推薦するなど、ネットワークの拡充に貢献。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。(用語)(公社):公益社団法人、(公財):公益財団法人